

## 第 17 回臨時委員会会議録

教 育 長 ) 開会宣言

教 育 長 ) 会議成立の宣言

教 育 長 ) 会議録署名委員の指名 (木村委員)

教 育 長 ) それでは、審議に入ります。日程第 1、第 19 号議案「令和 4 年度芦屋の教育指針について」を議題とします。提案説明を求めます。

学校教育指導担当課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長 ) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

木 村 委 員 ) ページを開けてぱっと見て、最初に「DX」という言葉が出てきて、これは何かなと思って、僕も分からなくて。教育関係用語でないのであれば、用語説明に入れるか、一般の人が認知しているデジタル化を示す言葉に差し替えていただいて。最初に開けて、分からない言葉が出てきて、意味も載っていないとなると、ちょっと戸惑ってしまうかなと思うので、そこは御検討いただければと思います。

河 盛 委 員 ) 今のところはどこですか。

教 育 長 ) 1 ページです。

木 村 委 員 ) 表紙を開けてすぐに出てくる、「はじめに」のところですか。

上 月 委 員 ) 「DX」とは、どういう意味なのですか。

学校教育部長) デジタル・トランス・フォーメーションと読みます。今、国も全て、いわゆるデジタルをしっかりと活用して、仕事の合理化を図ったり、遠隔でいろいろなことをしたり、これからデジタル社会になるということで、デジタル・トランス・フォーメ

ーションという言い方を、文部科学省も含めて、国が全体で動いているところです。

木村委員) この言葉を知っていた人はいますか。

上月委員) 私は知りませんでした。

学校教育部長) 多分、I o Tはよく聞くのですが。

木村委員) I o Tは聞きますね。

学校教育部長) 「D X」が「X」をトランスフォーメーションと読むのが、わからないと思います。その辺は、分かりやすくしたいと思います。

教育長) ちょっと分かりやすくしましょうか。

木村委員) 最初につまずいてしまったら、戸惑ってしまうので。

河盛委員) 12ページの8行目、「一連のP D C Aサイクル」というのは、何でしょうか。

学校教育指導担当課長) 「P l a n」、「D o」、「C h e c k」、「A c t i o n」の頭文字で、計画をして、それに基づいて教育をし、評価、改善をする。それを循環させながら、教育の質を高めようという考え方です。

河盛委員) これは、教育関係者では割とよく出てくる言葉ですか。

木村委員) 一般でも10年20年ぐらい前に、ビジネスマン向けにP D C Aサイクルとよく言っていて、教育関係者はみんな知っている。これは、私はあまり気にならないです。

河盛委員) そうですか。普通の人知っている。

極楽地委員) 分からない方もいらっしゃるかもしれないですね。

教育長) やたらと教育用語が出てくると、理解が進まなくなってしまうので気をつけましょう。

上月委員) 12ページ、1つ目の丸の中の黒点には「子どもたちの」という言葉があって、2つ目の丸の中の黒点には「児童生徒」、3つ目の丸の中の黒点には「児童生徒」、4つ目の丸の中の黒点には「小中学生」と、子どもの呼び方が何種類かあるのですが、「子どもたち」としたときは、小中学生だけではなくて、就学前の子どもも入るという理解でよいでしょうか。「児童生徒」と「小中学生」はどのような形で区別されているのか、教えていただきたい。22ページと26ページには「幼児児童生徒」という言い方もあったので、その辺の区別をはっきりとされているのであれば教えていただきたいです。

学校教育指導担当課長) 1人1台タブレットのところで「子どもたち」と出ておりますが、幼児はまだ1人1台はありませんし、小中学生を指しています。その辺は表現の仕方がいろいろになっているのでそろえていきたいと思えます。

木村委員) 一般的に解釈すると幼児も「子どもたち」に入りますね。ただ、これでは下との整合性が取れない。

上月委員) 先ほどの「取組」と「取り組む」の書き方ですが、30ページの真ん中にある「取り組み」の書き方を「取組」に直すとよいです。

学校教育指導担当課長) 美術博物館のところを直します。

極楽地委員) フォントを統一していただきまして、親しみがあるように見やすくなったと思っています。ありがとうございます。また、画像も少し増やされたと思いますが、それも視覚的に訴求効果が上がりまして、よりよいようにブラッシュアップいただいて、ありがとうございます。

34 ページ、基準値「R1」を追加いただきましたので、「中止」がどう中止になったのかが比較できて見やすくなったので、これもポイントでいいなと思いました。また、用語解説の文言全部に米印をつけていただき、索引しやすく見やすくなったと思います。内容も整合性を取っていただきまして、ありがとうございます。

木村委員) 48 ページをぱっと見ると、1行目で「ICT活用」の「C」と「T」の間が空いたり、「GIGAスクール構想」の「GIGA」や、「ICT」もすかすかで。前を見てみると、「LGBT」など、これらのアルファベットのすき間が空いています。ただ、44 ページを見ると「GIGAスクール構想」はちゃんと詰まって、普通になっている。この辺りは印刷するときには、直していただくということによろしいですね。

学校教育指導担当課長) 直します。

教育長) 数字も直してください。48 ページの「令和5年度～令和14年度」の「14」にしても、ちょっと間抜けな感じがするので。

木村委員) これはワードか何かで作っているのですか。

学校教育指導担当課長) ここは施政方針からそのまま取っています。ワードをベースに作っておりますが、最終的にはデータを印刷業者に渡します。

木村委員) 業者に回すのですか。

学校教育指導担当課長) 校正も含めて業者が作ったテキストについて確認をするということになります。

木村委員) 分かりました。

河盛委員) 37ページの「アサガオの支援対象者」の数が、目標が「150」で増えているのですが、これは増やすのが目標なのか、多分増えるという予想なのか、あるいは現状が少ないのは、実際にはたくさんいるのが見つけられていないので、もっとたくさん増やしたほうが良いという考えなのか、これはどういう考えに基づいて増えているのでしょうか。

社会教育部長) これは議会や教育委員会でももっと周知を図りなさいと指摘をいただいておりますので、周知によって、相談の人数や件数を増やそうとしているところでございます。

河盛委員) 支援者を増やすということは、本当は支援しなければいけない人がもっとたくさんいるので、こうなっているのでしょうか。

社会教育部長) まだ周知が足りないため、ここにたどり着けていないのではないかと考えておりますので、取組をすすめてまいりたいということでございます。

河盛委員) そういう意味ですね、分かりました。

上月委員) 26ページ、教職員の資質能力の向上の下から2つ目の丸に「組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成を図る」というところで、コロナ禍の中で、研修体制もとりにくかったでしょうし、打出教育文化センターにおいても、メンター方式のチーム研修等も、実施が難しかったと推察します。そうした中で、よい点としては、遠くの講師の人とつながることができることがあげられます。夏の研修などで、随分そういったオンライン研修も企画実施されたと理解しております。

ただ、残念だったのは、遠くの大学で普段招聘することが難

しい先生、貴重な先生の研修なのに、参加人数が少なかったことです。一堂に会さなくても、学校に来ればつながることができるので、講師の先生もいろいろ考えられて、双方向でのやり取りをしたり、演習をしたりということも入れられていました。よい研修だったと思いますが、もっと参加できるのではないかとということが、残念だなと思いました。

令和3年度で、コロナ禍ではあったけども、ICTを中心とした研修を行い、打出教育文化センターとしてはどのような成果が見られたと考えておられるか、教えていただきたいと思います。

打出教育文化センター所長)

上月委員がおっしゃるように、オンラインを活用することによって、遠くの先生方の貴重なお話を聞けるということで、ICTを活用した研修を積極的に進めていきたいと思っていますところでは。

夏の研修においては、教職員のアンケートからは、オンラインでの研修で、おおむね好評といたしますか、評価いただいているところですので、そこを講師の先生と相談しながら、さらにオンラインを進めていく。

打出教育文化センターでも、参加人数については少ないということは課題として考えておりますので、例えば、研修に参加する対象を明確に示したり、あと学校とコラボしながら、学校を会場とした研修を進めたりしていくことで、より多くの先生方に研修を受けていただきたいということで、来年度に向けて計画を進めているところです。

上月委員)

分かりました。33ページの読書のまちづくりの推進で、

「読書推進モデル校の取組」がずっと上がっているわけですが、昨年、コロナ禍の中で、どのような取組がなされたのかをお尋ねしたいと思います。

学校教育課長) 読書のモデル校は、朝日ヶ丘小学校が指定を受けてやっているところでした、全体で教職員も保護者も、もちろん子どもを含めて、みんなで読書のよさを推進していくことでの取組を行っております。学校全体で同じような方向性をもってやることで取組がさらに推進されますので、校長会でそれを共有して、さらに広げてまいりたいと思っていたのですが、1月の校長会が中止となり、できなかったのも、また次年度になりますが、情報共有して進めていきたいと思っております。

教 育 長 ) 今日、御指摘を受けた部分について、直す時間はありますか。

学校教育指導担当課長) はい、すぐ直します。

教 育 長 ) これで最後ですね。

学校教育指導担当課長) はい、皆様に確認していただくことはこれが最後です。

教 育 長 ) そこだけ検討してください。

学校教育指導担当課長) はい、分かりました。

教 育 長 ) 最後に30ページの一番最後に「(3) 学校・地域連携の推進」とありますが、これは31ページの上に持っていきませんか。

学校教育指導担当課長) はい、分かりました。

教 育 長 ) 31ページの下にスペースがあるので。

学校教育指導担当課長) その辺は、また最終、全部見ていきます。

教 育 長 ) 他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

これより採決いたします。本案は、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認めます。

よって本案は原案のとおり決しました。

〈第19号議案採決。結果、可決（出席委員全員賛成）〉

教 育 長 )      ここでお諮りいたします。

報告第12号「令和3年度教育委員会関係補正予算について」は、市議会提出議案のため非公開で審議するのが適当と考えますが、御異議はございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認め、そのように決定いたします。

教 育 長 )      ただいまから非公開で審議いたします。

〈非公開会議〉

次に、日程第2、報告第12号「令和3年度教育委員会関係補正予算について」を議題とします。

提案説明を求めます。

建 築 課 長 )      〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長 )      令和4年度実施と考えていたのですが、国が令和3年度予算として用意できたので、手を挙げて確定をしていただいた。

単年度予算で執行しないといけないのですが、令和3年度で実施する時間がないので、それを翌年度に繰り越しますとしたうえで、令和3年度予算として補正をする。時期以外は全然変わらないわけですね。



建築課長 ) 実際の工事の進め方や内容に変更があるものではございません。あくまでも予算的な措置として、令和3年度のお金であるという形の措置をするということでございます。

教育長 ) 確実に予算は確保したということですね。

建築課長 ) はい、そうです。

教育長 ) 令和4年度で手を挙げたら、国からの補助金が今回と同じだけつくかどうか分からないわけですね。

建築課長 ) そうです。令和4年度の国の予算がまだ成立していないこともございますので、今回、手を挙げさせていただくことで、令和4年度予定していたものに、確実に補助金をつけていただけますので、市の財政面にとっても有利であるということで、今回、手を挙げさせていただいたものです。

教育長 ) 分かりました。

説明が終わりました。質疑はございませんか。

河盛委員 ) 用語の説明だけ教えてほしいですが、会計用語を知らないもので、「繰越明許費」とはどのようなものでしょうか。

建築課長 ) 繰越明許費は、基本的には、予算は当該年度に支出するという原則がございます。会計年度独立の原則があり、令和3年度の予算は3年度に使ってしまわないといけないということですが、実際には、令和3年度に工事は終わりませんので、令和3年度の予算を令和4年度に繰り越す、翌年度に繰り越して、令和4年度でも支出ができるという財政的な手続になってまいります。

河盛委員 ) よく分かりました。

木村委員 ) 7ページで、学校建設費、補助金1億700万円で市債が

9億900万円ぐらいあるのですが、市債は今年度発行するのですか。また、発行はいつになるのですか。

建築課長) 要は借金をすることにはなりますが、今回は併せて、財政措置を取らないと、予算の裏づけがありませんので、その措置を財政部局で行うこととなります。

木村委員) 今年度中はやらないということですか。

建築課長) 今回の補正は令和4年度に繰り越すため、市債の発行は令和4年度になります。

極楽地委員) 岩園小学校の空調改修工事ですが、以前から夏場はラウンジなどが暑かったと記憶しておりますが、具体的にはどのような内容になるのでしょうか。

建築課長) 岩園小学校の令和4年度予定としておりました部分は、和室、図書室とコンピューター室。職員室の関係は事務室、校長室と職員室。会議室関係は職員の休憩室、保健室と会議室。さらに視聴覚室とスタジオ関係を今回対象としております。

空調の改修につきましては、大体設置してから15年ごとにやり替えていく考え方に基づいて計画をしています。ほかの箇所につきましては、これまでに改修をしてきているので、学校全体で、同じタイミングで全ての空調機器が変わっているわけではないので、切替えの対象年度を迎えている、今申し上げた部屋の空調を変えることになってまいります。

教育長) 他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

それでは、報告第12号「令和3年度教育委員会関係補正予算について」の報告を受けたものいたします。

教 育 長 ) 非公開での審議は終了いたしましたので、これより公開いたします。

<非公開審議 終了>

教 育 長 ) 閉会宣言